
都心の空き家再生×児童養護施設退所者の自立応援！家賃無料の家オープン！

2024年4月、まちごろりん世田谷と豊島の開設をはじめとして
児童養護施設退所者の自立を総合的に民間応援する試みを開始します

<https://satoyamapioneers.web.fc2.com/>

NPO 法人・東京里山開拓団は、2009 年以来東京周辺の荒れた山林や空き家を児童養護施設の子どもたちとともに自ら再生してふるさとづくりを進めてきました。この度、株式会社社住栄都市サービス（空き家提供・中古家財提供・退所者雇用推進）、個人家主（空き家提供）、一般財団法人世田谷トラストまちづくり（空き家紹介）などの協力を得て、児童養護施設退所者が最大 5 年間家賃無料で住める家「まちごろりん」を都心に 2 軒オープンするなど民間ボランティアの力による総合的な退所者自立応援プロジェクトを開始します。

★ポイント①**一貫通貫の総合的な退所者自立応援**を実現！浮いた家賃や中古家財提供で積立促進する「経済基盤づくり」から、定期会議やイベント運営を通じた「生活習慣づくり」「仲間づくり」、連携企業による「退所者雇用機会づくり」、当団体活動参加による「ふるさとづくり」まで

★ポイント②**開拓者精神**を發揮！単なる支援ではなく退所者の**自立努力を応援**！児童養護施設の子どもたちも空き家の片付けや改修に参加！

★ポイント③**民間ボランティア**で運営！コストは最低限に抑制、税金に頼らず民間寄付や自主事業で運営！

【社会的背景】

虐待や貧困等で苦しんできた児童養護施設の子どもたち（全国で約 3 万人）は、入所中は手厚い公的支援が受けられますが、成人すると途端に自立を迫られ、頼れる人もおらず転落していくケースも多くみられます。今年 4 月の改正児童福祉法施行で児童養護施設入居年齢制限は撤廃されますが、施設現場では職員やスペースの不足などで全く余力のない状況です。一方で、長年人が住まずに放置される空き家は全国では 7 軒に 1 軒に及び、景観、防犯、地域活性化などの観点から社会課題化しています。

私たちは、子ども時代の虐待や貧困が原因となって住む場所の確保にも苦勞する退所者が存在する一方で、手を入れれば住める空き家が増えている社会のあり方はどこかおかしいと思いました。ただ、公的資金に依存した退所者支援の延長も真の自立には結びつきません。そこで、退所者自らも開拓者精神を發揮して自立努力しつつ、民間ボランティアが埋もれた資産を生かして自立を応援する本企画によって、みんながよりたくましくよりすこやかに生きられる「フリーシェア社会」の実現を目指します。

【まちごろりん運営の仕組み】

- ・当団体が空き家を志ある大家から 3～5 年間無料で現状のまま借り受け※税・保険は当団体負担
- ・当団体と連携する児童養護施設の子どもたちが一緒になって空き家の片付け、改修を推進
- ・児童養護施設退所者が期間限定・家賃無料で入居※家賃以外は本人負担
- ・当団体、児童養護施設、企業、市民が退所者の自立を応援。入居者は当団体活動に参加協力
- ・契約終了後、きれいに片付けて大家に返却

【東京里山開拓団について】

東京周辺の荒れた山林や空き家を都内 5 つの児童養護施設の子どもたちとともに再生しふるさとを創り上げる活動を推進するボランティア団体（会員 40 名、代表：堀崎茂、2009 年 4 月設立）。環境保全と児童福祉を一石二鳥で進める前例のない試みとして注目され、環境大臣&厚労省表彰、環境白書紹介。

連絡先：080-9980-8792（堀崎）、kaitaku-jimu@googlegroups.com、所在地：東京都世田谷区